



製品・技術・サービスの名称

- PODiRシステムに基づくゲノム編集技術では、タンパク質を用いることなくオリゴ核酸のみでDNAに対する数塩基の挿入・欠失編集が可能です。
- 本技術ではオフターゲット作用は確認されず、望みの編集のみを得ることができることから、正確なゲノム編集による細胞の遺伝子編集を実現できます。

セールスポイント

- 分子量が大きく送達の難しい外来性ヌクレアーゼを用いることなくオリゴ核酸のみでゲノム編集が可能なおことから、細胞への送達がより容易です。
- 本技術では認識部位が長いことから、特異性が高く予測した編集のみが得られます。

再生医療分野における用途

- 本技術を細胞治療用途に用いることで、オフターゲットのリスクの少ない細胞のゲノム編集が可能です。
- 本技術を用いた正確な遺伝子操作により、各種疾患研究に用いるモデル細胞の調製が可能です。

編集の例

ヒト細胞（HEK293T）において変異GFPを対象としたPODiRシステムによるゲノム編集（8塩基欠失）を実証

